

トップメッセージ

TOP MESSAGE



NTTグループは、環境課題を解決しつつ経済成長を両立させるWell-being社会の実現に向けて、ESGへの取り組みによる企業価値向上をめざし、新たな環境エネルギービジョン「NTT Green Innovation toward 2040」を策定しました。本ビジョンに基づき、2040年度にはNTTグループ全体でカーボンニュートラルの実現をめざします。

私たちNTT研究所は、IOWN(Innovative Optical and Wireless Network)構想の推進や革新的な環境エネルギー技術の研究開発により「NTT Green Innovation toward 2040」の実現に貢献する役割を担っています。グローバルなパートナーとともに、持続可能な社会の実現に向けてイノベーションを起こしていきます。



研究開発による持続可能な社会への貢献

NTTグループは、IOWNの普及・拡大や新たなサービスの提供、再生可能エネルギーの開発強化・導入拡大などにより、自らのカーボンニュートラルに向けた取り組みを社会へ拡大し、日本政府の「2050年カーボンニュートラル宣言」の実現に貢献します。

NTT研究所ではテクノロジーが環境へナチュラルに溶け込むスマートな世界を実現するため、世界を変革する技術の研究開発を進めています。本レポートの特集1「環境に貢献する研究開発」では、社会の低炭素化に貢献する開発成果事例を、特集2「ICTによる社会貢献」では、国際的なスポーツイベントを彩り、支えたNTT R&Dの技術を紹介しています。

研究所における環境保護への取り組み

NTT研究所では、1999年から順次取得したISO14001(環境マネジメント)の下、環境保護に積極的に取り組み、NTT研究所で働くすべての人に環境活動が浸透・定着しています。この活動の中で、環境負荷を低減する研究開発、減災対策に貢献する研究開発、および働き方改革に合わせた省エネ・省資源活動を推進しています。

私たちは、持続可能な社会の実現に向けて引き続き環境負荷低減に努め、地域貢献活動に取り組むとともに、これらを通じて生物多様性の保全を推進していきます。

本環境レポートをご一読いただき、忌憚のないご意見ならびにご支援をいただきますようお願い申し上げます。



IOWN総合イノベーションセンタ
センタ長 塚野 英博



サービスイノベーション総合研究所
所長 大野 友義



情報ネットワーク総合研究所
所長 立元 慎也



先端技術総合研究所
所長 岡田 顕